

雫石中学校

防災マニュアル

雫石の「てんでんこ」

みんなが信じ合って
自分の命のために
最善を尽くす

「命を守る」

大地震発生

揺れがおさまったら

落ち着いたら

家や通学途中

- ・ 周辺の状況に注意し、特に頭を守ることに。
- ・ 塀、電柱・自動販売機などから離れ、落下物に注意する。切れた電線には絶対触れない。
- ・ 公共交通等を利用している場合は、係員の指示に従って行動する。
- ・ 建物内にいる場合は不用意に外に出ない。

- ・ 危険箇所が周りにはないか確認する。
- ・ まず、安全な場所へ避難することを考える。家・学校に行くのはそのつぎ。
- ・ 移動する場合は、余震を考え、ブロック塀・電柱・建物から離れて歩く。
- ・ 停電で信号機がつかない交差点では十分注意して移動する。

- ・ 余震に注意する。
- ・ 自宅、学校へは自己判断で戻らず、まずは、近くの安全な場所へ移動する。
- ・ 避難場所がわからないときは、火災や倒壊の危険がない最寄りの空き地や公園へ避難する。
- ・ 警察、消防、町の職員がいたら、避難場所と移動ルートを聞く。

大雨のとき

- ・ 不必要な外出をしない。
- ・ 川に絶対近づかない。
- ・ 移動するときはなるべく平地を歩く。
- ・ 膝下の水量で人は足をとられます。水が流れているところは必ず避ける。
- ・ 山川沿いの道は要注意

朝 6:30 に大雨・洪水の
「**警報**」が出ていたら

学校は「**休校**」となる場合もある。
町の防災課と町教委と相談し、まなびポケットで連絡する。

- ・ 「休校」の際には外出せず家で安全に過ごす。
- ・ 通学路に危険があり登校できない場合は、自宅に待機する。

岩手山噴火のとき

- ・ 噴石が最も危険なので、すぐ近くの建物の中に避難する。
- ・ 「頭」を守りながら避難する。(ザック等を頭に乘せる)
- ・ 建物が付近にないときは頭上を守られる場所を探す。

岩手山噴火の際の注意

- ・ 噴石以外は到達するまである程度時間がある。
- ・ 役場の防災放送で正しい情報を把握し、落ち着いて行動する。
- ・ 登校前に「警報」が出た場合は大雨のときと同じように自宅から出ない。

雫石中学校

防災マニュアル

雫石の「てんでんこ」

みんなが信じ合って
自分の命のために
最善を尽くす

「命を守る」

大地震発生

揺れがおさまったら

落ち着いたら

家や通学途中

- ・ 周辺の状況に注意し、特に頭を守ること。
- ・ 塀、電柱・自動販売機などから離れ、落下物に注意する。切れた電線には絶対触れない。
- ・ 公共交通等を利用している場合は、係員の指示に従って行動する。
- ・ 建物内にいる場合は不用意に外に出ない。

- ・ 危険箇所が周りにはないか確認する。
- ・ まず、安全な場所へ避難することを考える。家・学校に行くのはそのつぎ。
- ・ 移動する場合は、余震を考え、ブロック塀・電柱・建物から離れて歩く。
- ・ 停電で信号機がつかない交差点では十分注意して移動する。

- ・ 余震に注意する。
- ・ 自宅、学校へは自己判断で戻らず、まずは、近くの安全な場所へ移動する。
- ・ 避難場所がわからないときは、火災や倒壊の危険がない最寄りの空き地や公園へ避難する。
- ・ 警察、消防、町の職員がいたら、避難場所と移動ルートを聞く。

大雨のとき

- ・ 不必要な外出をしない。
- ・ 川に絶対近づかない。
- ・ 移動するときはなるべく平地を歩く。
- ・ 膝下の水量で人は足をとられます。水が流れているところは必ず避ける。
- ・ 山川沿いの道は要注意

朝6:30に大雨・洪水の「**警報**」が出ていたら

学校は「**休校**」となる場合もある。
町の防災課と町教委と相談し、まなびポケットで連絡する。

- ・ 「休校」の際には外出せず家で安全に過ごす。
- ・ 通学路に危険があり登校できない場合は、自宅に待機する。

岩手山噴火のとき

- ・ 噴石が最も危険なので、すぐ近くの建物の中に避難する。
- ・ 「頭」を守りながら避難する。(ザック等を頭に乘せる)
- ・ 建物が付近にないときは頭上を守られる場所を探す。

岩手山噴火の際の注意

- ・ 噴石以外は到達するまである程度時間がある。
- ・ 役場の防災放送で正しい情報を把握し、落ち着いて行動する。
- ・ 登校前に「警報」が出た場合は大雨のときと同じように自宅から出ない。

通学途中の アクシデントに 備えましょう。

もしクマに 出会ったら !!

走って逃げない! 背中を見せない!

持ち物(リュックなど)を静かに置いて

注意をそらす

目を離さず静かにゆっくり後退する

クマとの間に木や岩を挟むようにする

クマが攻撃してきたら両手で顔や頭を

カバーし体を丸くして地面に伏せて

防御する

車やバイク、自転車と接触して、 大きなケガになっていないとき

- ・簡単に「大丈夫です」と言わないようにしましょう。(あとから痛みがくることがあります。また、「大丈夫」の言葉を聞いて相手が立ち去ってしまうことがあります。「大丈夫」と思っても病院の診断は受けましょう。
- ・相手の名前や電話番号を聞きましょう。
- ・車のナンバーをできるだけ覚えておきましょう。
- ・事故にあったことを家族や学校に伝えましょう。

登下校中に大地震などの 災害にあったら、 地区の公共施設に 一時避難しましょう

避難場所

中央公民館、雫石公民館、
町営体育館、雫石小学校、
七ツ森小学校、雫石高校、
西山小学校、御明神公民館、
御明神小学校、御所公民館、
御所小学校

学校への連絡方法

Tel : 019-692-0321

Fax : 019-692-0322

副校長 :

「安否確認電話」

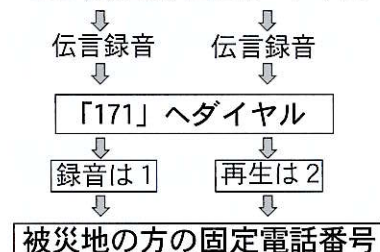
学校以外の場所で大地震が発生したときは、連絡可能な状況になったら学校または副校長に連絡してください。

家族への連絡方法

Tel 1 :

Tel 2 :

NTT 災害用伝言ダイヤル



家族との集合場所

災害が発生したときに家族と集合・避難する場所をあらかじめ決めておきましょう。

避難場所

集合場所

雫石の

てんでんこ

緊急のときはそれぞれが
「自分の命を守る行動をする」
と信じあって避難する。

『生きていれば
会える』